



部分積分法

被積分関数がある2つの関数の積の形である場合、部分的に積分できるというのが、次の部分積分法である。

部分積分法

命題. $f(x)$, $g(x)$ は微分可能関数でその導関数が連続関数であるものとする。このとき、次が成り立つ。

$$\int f(x)g'(x) dx = f(x)g(x) - \int f'(x)g(x) dx. \quad (1)$$

証明. $f(x)g(x)$ の導関数は、積の導関数の公式¹ から、

$$\{f(x)g(x)\}' = f'(x)g(x) + f(x)g'(x)$$

と計算できる。よって、 $f(x)g(x)$ は、関数 $f'(x)g(x) + f(x)g'(x)$ の原始関数のうちの1つである。よって不定積分は、積分定数 C を用いて、

$$\int \{f'(x)g(x) + f(x)g'(x)\} dx = f(x)g(x) + C$$

と表される。さらに左辺は、積分の線形性² から、

$$\int \{f'(x)g(x) + f(x)g'(x)\} dx = \int f'(x)g(x) dx + \int f(x)g'(x) dx$$

と計算できるので、これらを合わせて、

$$\int f'(x)g(x) dx + \int f(x)g'(x) dx = f(x)g(x) + C$$

が成り立つ。この等式において、 $\int f'(x)g(x) dx$ の項を移項する事で、公式(1)が得られる。(積分定数 C は移項した不定積分に吸収された³。) □

部分積分の公式(1)は、次のように見ることができる。

$$\int f(x)g'(x) dx = f(x)g(x) - \int f'(x)g(x) dx$$

積分

積分

よって、次のように書き換えても良い。

部分積分法

命題. $f(x)$ を微分可能関数でその導関数が連続関数であるものとし、 $g(x)$ を連続関数でその原始関数のうちの1つを $G(x)$ とする。このとき、次が成り立つ。

$$\int f(x)g(x) dx = f(x)G(x) - \int f'(x)G(x) dx. \quad (2)$$

¹<https://gleamath.com/derivative-formulas/>

²<https://gleamath.com/linearity-of-indefinite-integral/>

³“原始関数 $+C$ ” の形の関数をまとめて不定積分と呼んでいたのので、 $\int h(x) dx + C = \int h(x) dx$ が成り立つ。

注意. 部分積分の公式 (2) が, $G(x)$ の取り方によらないことを示さなければならない. 原始関数は定数の違いしかないので, $g(x)$ の原始関数は全て $G(x) + C$ の形で書けるのであった. よって,

$$\begin{aligned} \int f(x)g(x) dx &= f(x)\{G(x) + C\} - \int f'(x)\{G(x) + C\} dx \\ &= f(x)G(x) + Cf(x) - \left\{ \int f'(x)G(x) dx + C \int f'(x) dx \right\} \\ &= f(x)G(x) + Cf(x) - \int f'(x)G(x) dx - C(f(x) + D) \\ &= f(x)G(x) + Cf(x) - \int f'(x)G(x) dx - Cf(x) - CD \\ &= f(x)G(x) - \int f'(x)G(x) dx \end{aligned}$$

ここで, D は積分定数であり, 最後の等号において, 定数 $-CD$ は, 不定積分 $-\int f'(x)G(x) dx$ に吸収された (上の注釈³を参照).

.....

例. 次の不定積分を求めよ.

(1) $\int xe^x dx$

(2) $\int x^2 \cos x dx$

(3) $\int \log x dx$

解. 以下で, C は積分定数とする.

(1) $\int xe^x dx$

$$= xe^x - \int (x)'e^x dx$$

$$= xe^x - \int e^x dx$$

$$= xe^x + e^x + C$$

(2) $\int x^2 \cos x dx$

$$= x^2 \sin x - 2 \int x \sin x dx$$

$$= x^2 \sin x - 2 \left\{ x(-\cos x) - \int (-\cos x) dx \right\}$$

$$= x^2 \sin x + 2x \cos x - 2 \sin x + C$$

(3) $\int \log x dx = \int 1 \cdot \log x dx$ とみて, 部分積分法を適用する.

$$\int \log x dx = \int 1 \cdot \log x dx$$

$$= x \log x - \int x \cdot (\log x)' dx$$

$$= x \log x - \int x \cdot \frac{1}{x} dx$$

$$= x \log x - \int dx$$

$$= x \log x - x + C$$

□

最後の結果は重要なので, 改めて公式の形で示しておく.

log x の不定積分

$$\int \log x dx = x \log x - x + C$$